

令和5年度サーベイランススケジュール

畜種	対象とする疾病等	目的	実施方法			
			実施地域	実施時期	対象畜種	事業量(頭、羽) 方法
牛	伝達性海綿状脳症	定型:清浄性の確認 非定型:発生状況の監視	県下全域	年間	乳用・肉用	60 ELISA
	ブルセラ症	清浄性の維持	〃	〃	〃	32 臨床検査、急速凝集反応、ELISA
	結核	清浄性の維持	〃	〃	〃	10 臨床検査、ツベルクリン
	ヨーネ病	清浄性の確認、感染牛の摘発、農場への侵入防止	横浜市(戸塚区、栄区、泉区及び瀬谷区の区域を除く区域に限る。)、川崎市、相模原市(緑区相原、大島、大山町、上九沢、下九沢、田名、西橋本、二本松、橋本、橋本台、東橋本及び元橋本町、中央区並びに南区の区域に限る。)、横須賀市、平塚市、鎌倉市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、南足柄市、三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町及び二宮町、足柄上郡中井町及び松田町並びに愛甲郡愛川町及び清川村の区域	〃	〃	2,878 臨床検査、スクリーニング、リアルタイムPCR、細菌検査(県域を2区域に分け、隔年でそれぞれの地域の検査を実施、発生農場:発生から1年間は4回/年以上、2年目以降は発生状況に応じて検査)
	アカバネ病	流行の予察	〃	6.8,9,11月	〃	200 臨床検査、中和試験
	牛伝染性リンパ腫	浸潤状況の把握、まん延防止	〃	年間	〃	1,870 臨床検査、ELISA、PCR、血液検査
	伝染性呼吸器疾病(牛伝染性鼻気管炎等)	感染牛摘発、清浄性の確認	〃	〃	〃	10 臨床検査、FA、中和試験
	伝染性消化器疾病(サルモネラ症等)	清浄性の維持・確認	〃	〃	〃	20 臨床検査、細菌検査
	口蹄疫	防疫対策の強化	〃	〃	〃	9,893 臨床検査
	牛ウイルス性下痢	浸潤状況の把握、発生予防	〃	〃	〃	475 臨床検査、中和試験、ELISA
豚	豚熱	ワクチン接種による免疫付与状況の確認	県下全域	〃	繁殖用・肉用	6,600 臨床検査、血液検査、FA、PCR、中和試験、ELISA
	豚熱	まん延防止	〃	〃	〃	178,000 ワクチン接種
	アフリカ豚熱	国内への侵入及び発生の予察	〃	〃	〃	50 臨床検査、PCR
	オーエスキー病	清浄性の維持、発生予防	〃	〃	〃	1,380 臨床検査、ELISA、中和試験
	流行性脳炎	発生予防	〃	〃	〃	40 臨床検査、HI試験
	豚丹毒	浸潤状況の把握、発生予防	〃	〃	〃	50 臨床検査、生菌凝集
	伝染性呼吸器疾病(豚繁殖・呼吸障害症候群)	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	1,700 臨床検査、ELISA、PCR
	伝染性消化器疾病(サルモネラ症)	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	100 臨床検査、細菌検査
	口蹄疫	防疫対策の強化	〃	〃	〃	63,890 臨床検査
	豚流行性下痢	清浄性の維持・確認、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	250 臨床検査、中和試験、PCR
鶏	高病原性鳥インフルエンザ	発生予防・発生予察	〃	〃	〃	2,250 臨床検査、ゲル内沈降反応、分離培養
	ニューカッスル病	感染鶏群の摘発、抗体保有状況の把握	県下全域	〃	採卵用、肉用	1,090 種鶏、法51条に基づく検査
	家きんサルモネラ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	〃	〃	種鶏	80 臨床検査
	鳥マイコプラズマ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	〃	〃	〃	2,180 臨床検査、凝集反応
蜜蜂	腐そ病	感染蜂群の摘発、発生予防	県下全域	年間	採蜜用、受粉用	2,300 ふそ病検査
野生のしし	豚熱	浸潤状況の把握	県下全域	年間	野生いのしし(死亡個体)	260 PCR、ELISA
	豚熱	浸潤状況の把握	県下全域	年間	野生いのしし(捕獲個体)	1,740 PCR、ELISA
	アフリカ豚熱	浸潤状況の把握	県下全域	年間	野生いのしし(死亡個体)	130 PCR
	アフリカ豚熱	浸潤状況の把握	県下全域	年間	野生いのしし(捕獲個体)	870 PCR